



外国出張報告書 614

平成 26 年 4 月 2 日

1. 出張国名 ガーナ
2. 出張月 平成 26 年 3 月
3. 出張目的 アフリカ低湿地プロにおける水資源の時空間変動の解明 : B

4. 成果の概要

研究対象村であるZaw村の圃場に設置していた水位ロガーを回収してデータを吸い上げ、メンテナンス作業を行って、2014年以降も継続して観測できる体制を整えた。2010～2012年は、早い年では7月上旬、遅い年でも8月中旬には地下水面が地表面に到達しており、さらに、3ヶ月程度は地表面付近で推移していた。一方、2013年は、9月上旬になってからようやく水位が地表面に到達しただけでなく、10月下旬になると水位が急速に低下し、約2ヶ月程度しか水位が地表面に到達していなかった。2013年は17.5年に1回の渇水年であったことがGlobal Precipitation Climatology Projectの降水量データセットを用いた解析の結果分かった。収集したデータの整理を行い、さらに、これまでに開発してきた氾濫水文モデルの適用結果をまとめて、学術雑誌に論文投稿を行った。なお、2013年のような渇水時には水不足による水ストレスの影響が大きいので、氾濫低湿地の稲作適性評価に土壌水分量の指標を取り込んでいくことが、今後の課題である。